

## 令和 7 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 29 日 (木) 18 時 30 分～ 20 時 05 分		
開催場所	美又まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	沖田真治、柳楽真智子、佐々木豊治		
意見	<p><b>【総務文教委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支え合い事業の適用範囲を拡大してほしい。道路への支障木、溝の掃除なども適用してほしい。</li> <li>・ 草刈り作業や身近な生活インフラを業者に委託できるような助成制度を設けてほしい、地域単位のボランティア活動に限界がきている。</li> <li>・ 敬老福祉乗車券の上限額について、中山間地域の実情を踏まえ上限額を上げてほしい。同様にあいのりタクシー等運行支援事業も同様に検討してほしい。</li> <li>・ あいのりタクシー等運行支援事業のマッチングの取りまとめについては事務局機能を市が担うべき。市全体でのデマンド交通として変えていくべき点も多い。</li> <li>・ 地域地縁組織(町内会、神社など)の組織運営の成り手がいない、もっと関わりやすくする仕組みづくりが必要だ。</li> <li>・ 大分市では多くの市民を一堂に集めた「市民全体会議」を行なったことがあり、その後、市民の意識が変わり一体感が生まれたと言う事例を参考に浜田市でも実践してみてもどうか。</li> </ul>		
	<p><b>【福祉環境委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居老人がここ近年、増加傾向にある。民生委員等に任せっきりでなく地域で気づく仕組みづくりが必要ではないか。</li> </ul>		
	<p><b>【産業建設委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三ツ桜酒造跡地に多額な費用を投じて施設をつくるより先に、もっと市民生活に身近な事へ予算を投じるべきではないか？道路維持管理、高齢福祉の充実、草刈り作業の補助など。</li> <li>・ 個人所有の土地に生える木が道路へはみ出してきても根本から切ることができない現状を見直すべき。条例をつくるなど何らかの改善が必要。</li> <li>・ 新原町内会で側溝の土砂を撤去していただくよう要望しているが未だ実施してもらえない。</li> <li>・ 美又温泉も何らかのキャッチコピーが必要。</li> <li>・ 温泉のデリバリーが懸賞で当たるなど斬新な企画があっても良いのではないか。</li> </ul>		

令和 7 年 6 月 2 日     沖田 真治